

敦賀気比保健だより

令和6年2月号

○令和6年もあっという間に1ヶ月過ぎてしまいました。3年生の皆さんは、卒業間近。先月、中学・高校、それぞれ最後の身体計測を行いました。3年間の成長をしみじみと振り返ってみてください。

○歯科検診後の治療状況についてアンケートを行いました。（高校のみ）

今年度の治療率は、53.2%。昨年は23.4%だったので、大きな進歩です。

治療しない理由として、「すっかり忘れていた」人が多かったです。

もう思い出したと思うので、治療しましょうね。

○感染症が流行中です。インフルエンザ、新型コロナ、感染性胃腸炎（ノロウイルス）。油断は禁物です。



インフルエンザとは…

→インフルエンザウイルスによっておこる病気で、感染力の強さや重症化の危険性から、「普通の風邪」とは分けて考えられています。飛沫感染や接触感染によって感染し、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月頃に流行します。

潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）：平均2日（1～4日）

症状：38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛等の全身症状、のどの痛み・鼻汁・咳など

予後：約1週間程度で軽快

※稀に小児では急性脳症、高齢者や免疫力が低下している方では肺炎等



出席停止期間は…→発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで

例えば、発症後2日目に解熱した場合



例えば、発症後4日目に解熱した場合



汚れが残しやすいところ



引用：少年写真新聞社
日本学校保健会

冬に流行する感染性胃腸炎に気をつけよう

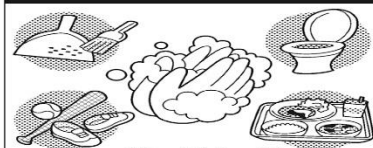
感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、毎年冬に流行します。原因となる主な病原体は、ノロウイルスやロタウイルスです。手についたウイルスが口や鼻を通じて体内に入ることによって感染したり、おうと物などに含まれるウイルスが空気中にただよってそれが体内に入ることによって感染したりします。

感染すると、はき気、おうと、下痢、発熱、腹痛などの症状を引き起こしますが、感染しても発症しない場合や、かぜのような症状ですむ場合もあります。

ロタウイルスには予防接種がありますが、ノロウイルスにはありません。以下のことに気をつけて、感染を予防しましょう。

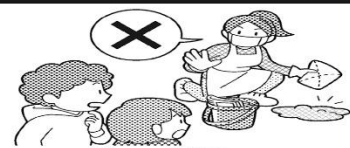
もしも学校で気持ちが悪くなったり、おなかが痛くなったりしたら、無理をせず、早めに先生に言いましょう。

手洗い



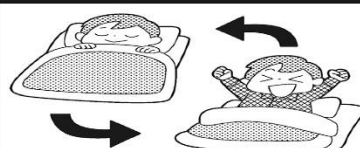
トイレの後や食事の前など、石けんでしっかり手を洗いましょう。

おうと物には近づかない



おうと物から感染することがあるので、近づかないようにしましょう。

規則正しい生活をする



免疫力が高まるので、病気に感染しにくくなります。